



平成 19 年 11 月 16 日

各 位

会社名 ラオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山下 巖
(コード番号 8202 東証第 2 部)
問合せ先 取締役管理本部長 山本 融
(TEL 03-5446-5771)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 3 月期中間期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)において、特別損失を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 8 月 3 日に公表した「平成 20 年 3 月期中間期及び通期の業績予想修正に関するお知らせ」の業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

個別決算において、本店はじめ 8 店舗及び本社における減損損失処理額として、1,772 百万円、ソフトウェア及び借地権の減損損失処理額として、876 百万円、投資有価証券評価損 376 百万円、子会社に対する投資損失引当金、1,824 百万円、店舗閉鎖及び改装等に伴う固定資産除却損として、165 百万円、子会社に対する貸倒引当金繰入として 121 百万円、希望退職制度実施に伴う早期退職加算金及び再就職支援サービスとして 20 百万円など 5,336 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 平成 20 年 3 月期中間期業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表数値(A)	30,980	2,370	2,210	720
今回修正予想(B)	30,796	2,783	2,552	3,070
増減額(B - A)	183	413	342	3,790
増減率(%)	0.6	-	-	-
(ご参考)前期実績(平成 19 年 3 月期)中間期	42,451	635	580	711

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表数値(A)	29,640	2,020	1,880	970
今回修正予想(B)	29,311	2,431	2,230	4,744
増減額(B - A)	328	411	350	5,714
増減率(%)	1.1	-	-	-
(ご参考)前期実績(平成 19 年 3 月期)中間期	40,244	485	366	527

3. 修正理由

(1) 連結業績予想の修正理由

当中間期においては、個別業績において有利子負債完済及び運転資金の確保を目指した資産圧縮の計画がずれ込み、運転資金の確保が当初計画を下回ったことに加えて、上期最大のビジネスチャンスである7月商戦では季節性の高い商品が振るわず、苦戦いたしました。このため、当初からの在庫圧縮の施策として、主にアソビット商品、パソコンソフトウェアの不稼動商品の処分を押し進めるとともに、旗艦店舗でありました「ザ・コンピュータ館」の閉店セールでは、パソコン関連商品の処分セールを実施し、売上高の確保を図りましたが、粗利益率が低減しました。経費は、売上高確保のための販促強化を図ったことで広告宣伝費等が増加、一方で減損会計の適用により、減価償却費が低減したことで、予想通りの推移となりましたが、粗利絶対額の下振れは補うことができなかったため、営業損失及び経常損失の拡大が予想されるため業績予想を修正いたしました。

また、減損会計の適用等による特別損失額を加味して、当期純利益も修正いたしました。

以上のような個別業績の影響が、連結業績の下振れにつながりました。

(2) 個別業績予想の修正理由

連結業績予想の修正理由と同様の理由であります。

なお、通期の業績予想につきましては、連結・個別ともに上記中間期の業績予想の修正を踏まえて現在精査中であり、平成20年3月期中間決算発表時に公表いたします。

(注) 今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上